

浅香山病院で診療を受けられた患者さまへ（オプトアウト）

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象に該当となる方で、この研究に関するご質問や、診療情報等を研究目的に利用されることをご了承いただけない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

① 研究課題名	脳波分析と自律神経機能解析に基づいた機械学習を用いた精神疾患の鑑別に関する研究
②対象者及び対象期間	当院で脳波検査を 2009 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日の間に受けられた方のうち 200 名程度。
③研究の目的と意義	脳波や自律神経機能検査を用いて、情動ストレス状態、認知症、うつ病、統合失調症、てんかんなどの精神疾患及び精神疾患予備群における、脳内の情報処理過程の変化を定量的に評価することで、精神疾患の早期発見、精神状態の評価を実現することを目的とする。
④研究期間	2023 年 11 月 1 日 ～ 2030 年 3 月 31 日
⑤情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	・脳波や自律神経機能検査を用いて、情動ストレス状態、認知症、うつ病、統合失調症、てんかんなどの精神疾患及び精神疾患予備群における、脳内の情報処理過程の変化を定量的に評価することで、精神疾患の早期発見、早期援助、治療の補助、治癒過程の評価を実現することを目的とする。精神症状は身体症状を伴うため、身体状態評価として、心電図と指尖容積脈波を用いて自律神経機能評価を行う。機械学習技術を用いることで、多くの精神疾患患者さんや患者予備群の方を対象に、中枢から末梢の生体反応の相互影響性を明らかにする。浅香山病院においては脳波データを研究対象とする。 本研究の成果は、学会や学術誌に発表する予定ですが、個人が特定できる情報が公表されることはありません。
⑥利用または提供する情報の項目	以下の情報を匿名化して研究対象とします。脳波データ、病歴（年齢、性別、診断名、家族歴、既往歴、罹病期間、治療歴、治療経過、生存情報）、血液・尿検査結果、生理検査結果、心理検査結果、画像検査結果
⑦利用する者の範囲（所属、身分、氏名）	兵庫県立大学大学院情報科学研究科教授、水野（松本） 由子 浅香山病院、臨床研究研修センター長、篠崎和弘 同、精神科部長・認知症疾患医療センター長、釜江和恵 青森大学教授、下條真司 大阪大学サイバーメディアセンター長、降籬大介 同情報科学研究科教授、長原一 九州工業大学情報工学部准教授、武村紀子 兵庫県立大学大学院情報科学研究科客員研究員、村松歩、山本祐輔 本研究には、兵庫県立大学大学院情報科学研究科の大学院生、客員研究員も参画する。
⑧試料・情報の管理について 責任を有する者(所属、身分、氏名)	兵庫県立大学大学院情報科学研究科教授、水野（松本） 由子
⑨お問い合わせ先(所属、身分、氏名、電話番号など)	兵庫県立大学大学院情報科学研究科教授、水野（松本） 由子 Tel: 078-303-1901 (不在の場合は、事務局に連絡先を伝言して下さい。)